

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ

売上収益
4兆5,000億円

調整後営業利益
5,150億円

調整後営業利益率
11.4%

小規模農家支援
30,000軒

② 中長期の経営戦略

1. タイヤ事業の成長

商品力強化と最適なサプライチェーン構築。日本をモノづくりの中核とし、高技術タイヤのグローバル供給拠点として活用

3. リサイクル事業推進

タイヤのケミカルリサイクルの早期社会実装・事業化により価値循環を実現

2. ソリューション事業の拡大

顧客のオペレーション安全性・生産性向上、タイヤ使用本数低減、CO2削減を通じたサステナビリティ貢献

4. カーボンニュートラル化

2030年にCO2総量を2011年比50%削減。2025年は約62%削減見込み。2030年再生可能エネルギー100%を目指す

③ 対処すべき課題

① 地政学リスク対応

- ・ 米国関税影響や中東情勢の動向注視とビジネス影響の見極め

② サイバーリスク強化

- ・ グローバルサイバーリスク対応チーム立ち上げ、グループ全体の包括的対策強化

③ 規制対応と安全基盤

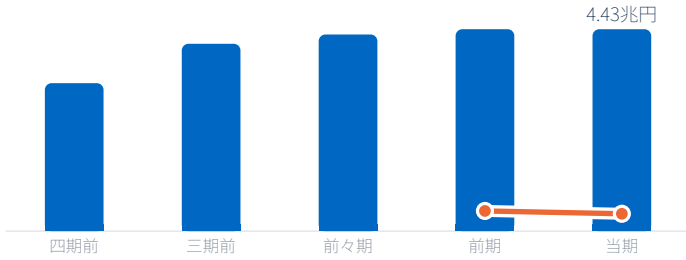
- ・ 6PPD及びTRWPへの業界全体リード
- ・ EUDR対応で天然ゴムパートナーとのサステナビリティ関係強化
- ・ 安全・品質・環境の継続的改善・強化

面接で使えるポイント

- ・ 2050年サステナブルなソリューションカンパニーを目指し、2030年CO2を2011年比50%削減する野心的なビジョン
- ・ タイヤのケミカルリサイクルや小規模農家支援で2026年累計30,000軒を目指す価値循環への取り組み
- ・ 2031年創立100周年に向けて業界世界No.1奪回を目指す成長戦略とグローバル経営基盤の確立

証券コード 5108

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4.43兆円営業利益率
8.6%財務健康度
65点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 63.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
771万円

ゴム製品内 2位/17社

平均年齢
42.1歳

ゴム製品内 8位/17社

平均勤続
15.8年

ゴム製品内 11位/17社

女性管理職
5.5%

ゴム製品内 6位/15社

男性育休
95.2%

ゴム製品内 6位/15社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考:「ブリヂストン 統合報告2026」を発行

